

宿題の「提出率」から「質」重視への転換を図りませんか？

9月末から県教委の指導主事が県内の中学校訪問を実施しています。学力向上担当の先生方との懇談を通じ、学力向上に向けた工夫等をお聞きしました。義務教育の最終段階を見据え、自立した学習者の育成を目指し、新たな取組を進めている学校も多く見られました。

訪問時の話題の多くは家庭学習についてでした。ほとんどの学校で「宿題の提出率」を評価に入れており、定期考査前にいわゆる提出点がマイナスにならないために、まとめて課題に取り組んでいる生徒の姿もありました。学年末、そして次年度を見据え、今一度、本質に立ち返り、家庭学習につなげる授業の在り方や、宿題の目的について教員で共通理解する場をつくりませんか？

■ 個人懇談で提出率だけを話題にしていませんか？

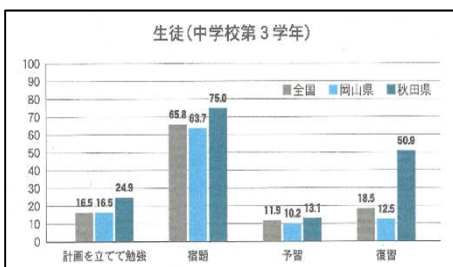
先生、うちの子はちゃんと宿題を提出していますか？

えっと、それぞれの教科担任からの提出状況の報告によると、国語は全部出ていますが、英語のワークが……

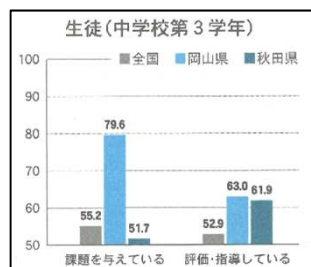


上のようなやり取りは、多くの学校の個人懇談時に交わされているようです。中学1年の生徒は、小学校と異なる教科担任制に戸惑いながらも授業に臨んでいます。しかし、年度初めは行事等も多く、なかなか授業が進みません。宿題が少ない日々が続く、小学校時代の宿題との感覚のズレを感じます。本格的に授業や部活動が始まると毎日が慌ただしくなります。教科担任からすれば、次の授業までの宿題を出しているつもりでも、生徒は教科ごとに異なる提出日に合わせて宿題に取り組まなければなりません。これをきちんとこなせる生徒は問題ないのですが、マネジメントできない生徒は、提出日前日あるいは当日になって焦り、丁寧に取り組むよりも答えを丸写しにしてでも提出することを優先している状況が多いと思われます。小学校時代は学級担任が毎日宿題のチェックをしますが、中学校では教科担任が提出状況を生徒に通知することが多いため、学級担任は懇談時に初めて提出状況が分かるということが多くなります。しかも、知らされる事項は、授業態度や宿題の提出率が中心となり、生徒自身がどこにつまずいており、困難を感じているかまでは、学級担任が把握することが難しいのが現状です。

■ 家庭学習に関する秋田県との比較(教育時報平成28年6月号)より



平成27年度 全国学力・学習状況調査
児童生徒質問紙調査結果より



同 学校質問紙調査結果より

秋田大学客員教授 濱田 純 氏の巻頭論文より

岡山県の特徴として、教師はきちんと宿題を与えていますが、多くの子どもたちが「宿題を評価・指導してもらっていない」あるいは「評価・指導を必要としない宿題である」と捉え、学習に取り組む意欲が低下してしまっている可能性があります。評価とは、達成度を把握すると同時に、次への学習意欲を引き出すねらいがあるはずです。

秋田県では、子どもたちは授業の振り返りの中で、課題をつかむことが習慣化しており、その結果が、自分で計画を立てて宿題に取り組む意欲に繋がっていると言えます。

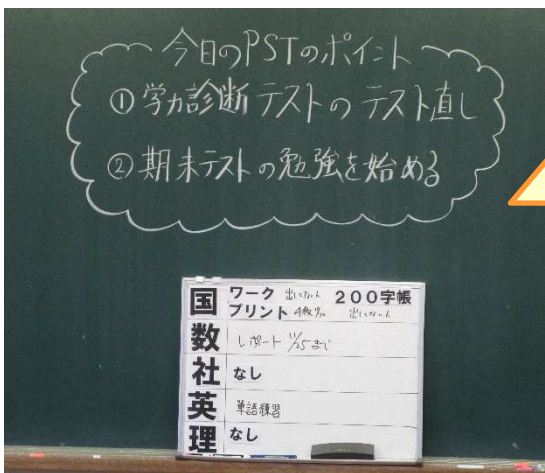
先生、〇〇が苦手と言っているのですが、どのように家庭学習に取り組めばよいでしょうか？

テスト週間で部活動が停止になると、家庭でしっかりと学習に取り組ませようという思いから、「ここから問題が出るよ!」と言って、ワーク等の課題が各教科から一斉に出されますが、生徒のつまずき解消や学力向上につながっていない宿題が多く見られます。保護者も懇談時に提出率が話題になることが多いため、「宿題さえ出していれば安心」という思いがあるのではないのでしょうか。

今一度、各学校で取り組んでいる補充学習も含めて、宿題の出し方や評価の在り方について見直してみましょう。

■ 瀬戸内市立牛窓中学校 PST (Planning and studying time) の紹介

牛窓中では、今年度の4月から、帰りの会の中で毎日その日の家庭学習の計画を立てる取組を進めています。1学期末の時点で、PSTシートを活用しながら家庭で宿題ができている生徒が86%、自主学習に取り組んでいる生徒が72%という結果でした。わずか10分間の取組ですが、大きな成果を挙げていると言えます。



1年生では特に、PSTタイムでの取組のポイントの「見える化」を意識し、生徒が計画を立てやすくする工夫をしていました。

さらに、「宿題連絡ボード」を併用することで、生徒にとって宿題が明確になり家庭学習の計画を立てやすくなります。また、学級担任は、気になる生徒への声掛けができるようになったとのことでした。



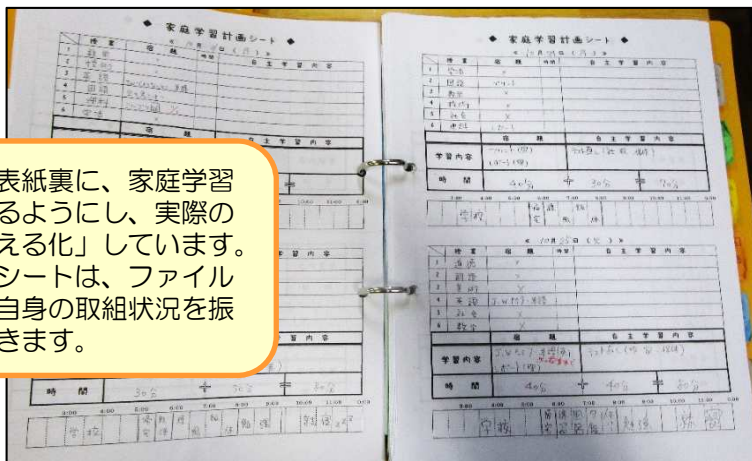
帰りの会の時間は、10分間のPSTの時間を含めて、20分確保しています。

生活ノートには、翌日の予定を記入し、PSTシート(家庭学習計画シート)には、今日の時間割とその時出された宿題を記入した上で、自主学習の予定を立て計画を記入します。



生活ノートの表紙裏に、家庭学習時間を記録できるようにし、実際の実績を「見える化」しています。

また、PSTシートは、ファイルに保管し、自分自身の取組状況を振り返ることができます。



【生徒の感想】

- テスト前だけでなく、日頃から家庭学習を頑張ろうという気持ちになった。
- 1学期は、時間が多くかかったけど、だんだん慣れてきて、効率よく学習に取り組めるようになった。
- 家だと、いろんな誘惑があるけど、自分で計画を立てたことを守ろうと意識をするようになった。

【先生から】

- 4月からの取組のため、数値で効果を測定できてはいませんが、生徒の家庭学習への取組方の変化を感じています。宿題連絡ボードと併用することでより効果が高まっています。
- 帰りの会が20分かかるため、どのように時間をつくるかが難しいです。生徒も段々と慣れてきたので、時間的にはもう少し短縮できそうです。3学期から改良型のPSTシートを活用し、試行しながらより効果のある取組を探っていきます。

12月27日(火)ピュアリティまきびで行われる「学力向上フォーラム」で詳細を紹介していただけます。奮って御参加ください。



岡山県マスコット「うらっち」